



2025 年 9 月 29 日

アフリカの地域経済共同体からみるアフリカ大陸自由貿易圏に向けた課題**公益財団法人 国際通貨研究所**
経済調査部 上席研究員 五味佑子

アフリカ連合 (AU) は、2013 年に発表した今後 50 年間の長期目標であるアジェンダ 2063¹の旗艦プロジェクトとしてアフリカ大陸自由貿易圏 (AfCFTA) の創設を掲げ、域内関税の撤廃及び域内貿易の促進を通じた持続的な成長を目指している。2025 年 1 月時点で AfCFTA はエリトリアを除く 54 の国・地域が署名、内 48 の国・地域が批准している。本協定の交渉は段階的に行われ、現在は物品貿易、サービス貿易、紛争解決の分野を対象としたフェーズ 1 にあり、原産地規則などについて交渉中である。フェーズ 2 は投資、知的財産、競争、デジタル貿易、女性と若者の分野を予定している。2022 年からは特定の品目について一部の国で試験的な取引 (Guided Trade Initiative) を開始した。

アフリカでは 1960 年代以降各地で地域経済共同体 (REC) が設立され、それぞれが独自に地域経済統合を目指す動きがみられたが、AU の前身であるアフリカ統一機構 (OAU) は 1991 年のアブジャ条約で REC をアフリカの地域統合の柱と位置付け、REC の域内統合推進を通じたアフリカ経済共同体 (AEC) の設立が採択された。2008 年の REC と AU の関係に関する議定書では、REC と AU の政策の調整と協力枠組みが制度化された。REC の自由貿易促進を通じた域内統合・経済成長に向けた取り組みは、より広範な自由貿易圏を目指す AfCFTA 推進に向けて参考になると考えられる。

アフリカには 14 の REC が存在していたが、加盟国や機能の重複の問題もあり AU が認定する REC は 2006 年以降 8 つとなっている。AU が認定している 8 つの REC は、東アフリカ、西アフリカ、南アフリカ、北アフリカ及び中央アフリカの 5 つの地域にそれぞれ存在する。このうち 5 つの REC は複数の地域にまたがり、加盟国の多くが複数の REC に重複加盟している (図表 1)。いずれも設立から 25 年以上経つが、アラブ・マグレブ連合 (AMU)、サヘル・サハラ諸国国家共同体 (CEN-SAD) と政府開発機構 (IGAD) は自由貿易協定 (FTA) の締結に至っていない。AMU、CEN-SAD は政情不安や各国の協力体制面で課題があり、IGAD は地域貿易政策に財貿易の自由化を含まず、加盟国の AfCFTA 実現を直接支援する方針に移行している。

¹<https://africanunion2063.org/courses/agenda-2063-frame-work/lesson/chapter-4-agenda-2063-goals-priority-areas-targets-and-indicative-strategies/>

図表 1：アフリカ連合が認定している 8 つの REC の概要

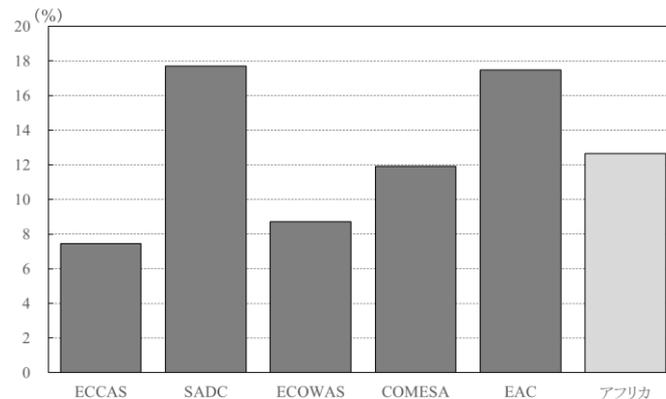
	アラブ・マグレブ連 合 (AMU)	サヘル・サハラ諸国 国家共同体 (OEN- SAD)	政府開発機構 (IGAD)	中部アフリカ諸国経済 共同体 (ECCAS)	南部アフリカ開発共 同体 (SADC)	西アフリカ諸国経済 共同体 (ECOWAS)	東南部アフリカ市場 共同体 (COMESA)	東アフリカ共同体 (EAC)
設立	1989年	1998年	1996年	1983年	1992年	1975年	1994年	2000年
事務局本部	モロッコ	リビア・チャド	ジブチ	ガボン	ボツワナ	ナイジェリア	ザンビア	タンザニア
加盟国数	5	25	8	11	16	12	21	8
他のRECに重複加盟している国数	4	23	8	6	11	10	21	8
加盟国の地理的区分での分布	北アフリカ(5)	西アフリカ(13)、北 アフリカ(5)、東ア フリカ(5)、中央ア フリカ(2)	東アフリカ(8)	中央アフリカ(9)、東 アフリカ(1)、南ア フリカ(1)	南アフリカ(10)、東ア フリカ(5)、中央ア フリカ(1)	西アフリカ(12)	東アフリカ(12)、南 アフリカ(4)、北ア フリカ(3)、中央ア フリカ(2)	東アフリカ(6)、中央 アフリカ(2)
加盟国	アルジェリア、リビ ア、モーリタニア、モ ロッコ、チュニジア	ブルキナファソ、エリ トリア、リビア、コモ ロ、ガンビア、エジ プト、コートジボワ ール、ジブチ、ギニア 、ギニアビサウ、シエ ラレオネ、ベナン、中 央アフリカ、ガーナ 、マリ、ニジェール、セ ネガル、スーダン、 チャド、ソマリア、ナ イジェリア、モーリ タニア、トーゴ、チュ ニジア、モロッコ	ジブチ、エリトリア 、エチオピア、ケニ ア、ソマリア、スー ダン、南スーダン、ウ ガンダ	アンゴラ、ブルンジ 、カメルーン、中央 アフリカ、コンゴ共 和国、コンゴ民主共 和国、赤道ギニア、ガ ボン、ルワンダ、サ ントメ・プリンシペ、 チャド	アンゴラ、ボツワナ 、コモロ、コンゴ民主 共和国、エスワティ ニ、レソト、マダガス カル、マラウイ、モー リシャス、モザンビ ーク、ナミビア、セ ーシェル、南アフリ カ、タンザニア、ザン ビア、ジンバブエ	ベナン、カーボベル デ、コートジボワ ール、ガンビア、ガ ーナ、ギニア、ギニア ビサウ、リベリア、ナ イジェリア、セネガル 、シエラレオネ、トー ゴ	エリトリア、リビア 、ソマリア、コモロ、エ スワティニ、ジブチ 、スーダン、チュニ ジア、コンゴ民主共 和国、マダガスカル 、モーリシャス、マ ラウイ、ブルンジ 、エジプト、ル ワンダ、エチオピア 、ジンバブエ、ウガ ンダ、ザンビア、ケ ニア	ブルンジ、ケニア、ウ ガンダ、タンザニア 、ルワンダ、南スー ダン、コンゴ民主共 和国、ソマリア
人口(億人、2023年)	1.1	7.0	3.1	2.3	4.0	4.4	6.5	3.1
PPPベース名目GDP(億ドル、2023年)	14,691	50,161	11,003	7,449	20,550	22,177	37,106	9,213
REC域内輸出の割合(%、2022年)	4.4	7.8	20.1	4.9	16.1	9.0	12.6	20.5
REC域内輸入の割合(%、2022年)	4.6	6.5	9.0	13.2	19.6	8.5	11.4	15.4
地域貿易協定	交渉中	交渉中	加盟国のAFCFTA実 現を直接支援する 方針	FTA(2004年)	FTA(2008年)	FTA(1990年) 関税同盟(2015年)	FTA(2000年) 関税同盟(2009年)	関税同盟(2005年) 共通市場(2010年)

(注) 最近の動きとして、コンゴ民主共和国は2022年に、ソマリアは2024年にEAC正式加盟。ブルキナファソ、マリ、ニジェールは2025年1月にECOWASから脱退

(資料) アフリカ連合、各RECのウェブサイト、国連、OECD資料より国際通貨研究所作成

FTA 締結済の REC は、中部アフリカ諸国経済共同体 (ECCAS) 及び南部アフリカ開発共同体 (SADC)、関税同盟である西アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS)、東南部アフリカ市場共同体 (COMESA)、東アフリカ共同体 (EAC) である。必ずしも REC 加盟国の全てが FTA に参加しておらず、公表資料によれば 2023 年時点で SADC は 3 か国、COMESA は 5 か国が未参加であり、FTA 参加に向け REC の事務局の支援を受けている。これら REC の域内貿易についてみると、域内輸出は EAC の 20.5% が最大、域内輸入は SADC の 19.6% が最大で、他は 10% 台乃至それを下回る水準となっている。輸出入合計では、EAC と SADC はアフリカ全体の域内貿易比率を上回るが、他は下回っている (図表 2)。

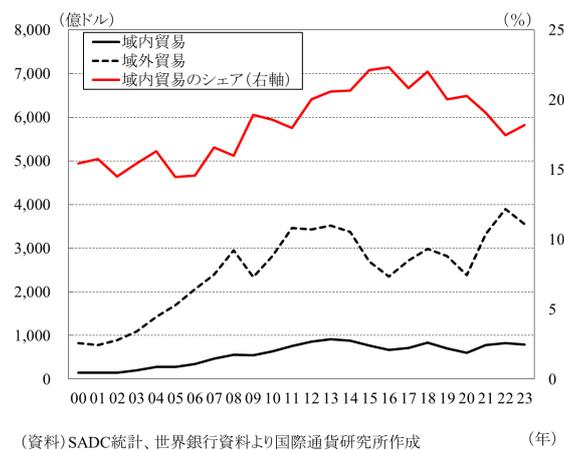
図表 2：FTA 締結済の REC の域内貿易比率 (2022 年)



(資料) OECDデータより国際通貨研究所作成

要因の一つとして非関税取引コストが挙げられる。UNCTAD のレポート²によれば、EAC の輸送コスト、言語や通貨に関連するコスト、輸出入手続き等の非関税取引コスト（2016 年から 2021 年の平均）は製品価格の 135%に相当するが、ECOWAS は 201%、SADC は 252%、COMESA は 283%とさらに高くなっている。SADC を例に挙げると、2008 年までに域内貿易の 85%で関税ゼロを達成し、2012 年までにセンシティブ品目の関税引き下げをほぼ完了したが、2016 年の 22%をピークに域内貿易比率は減少傾向がみられる（図表 3）。国連のレポートでは、複雑な原産地規則と煩雑な通関手続が課題として指摘されている。

図表 3：SADC の貿易推移



なお、AU が認定していないが代表的な REC として、南部アフリカ関税同盟 (SACU)、西アフリカ経済通貨同盟 (WAEMU)、中央アフリカ経済通貨共同体 (CEMAC) が挙げられる。いずれも AU 認定の REC のサブグループであり、SADC の 5 か国 (ボツワナ、エスワティニ、レソト、ナミビア、南アフリカ) が SACU を、ECOWAS の 8 か国 (ベナン、ブルキナファソ、ギニアビサウ、コートジボワール、マリ、ニジェール、セネガル、トーゴ) が WAEMU を、ECCAS の 6 か国 (カメルーン、中央アフリカ、チャド、赤道ギニア、ガボン、コンゴ共和国) が CEMAC を構成している。SACU は世界最古の関税同盟で、SADC と域内統合の促進を目的とした覚書を締結している。WAEMU 及び CEMAC は通貨同盟から関税同盟へと統合の動きがみられる。

アフリカでは 54 か国中 43 か国が財輸出の 7 割以上をコモディティに依存している。アフリカの域内輸出についてみると、食料品や燃料などコモディティの割合が約 5 割を占める。他方、輸出に占める製造品の割合も緩やかに増加し、2024 年の域内輸出の 4 割となっている（図表 4）。アフリカ各国の域内貿易と製造業の関係についてみると、南アフリカ地域を中心に GDP に占める製造業の付加価値比率が高い国ほど域内貿易比率が高い傾向がみられ（図表 5）、域内貿易拡大のためには、貿易円滑化に向けた対応のほか、産業政策や輸出多角化も重要となりそうだ。

² https://unctad.org/system/files/official-document/aldcafrica2024_en.pdf

<主要参考文献>

- African Union , AFRICAN INTEGRATION REPORT 2025, June 2025
<https://au.int/en/documents/20250825/african-integration-reportmain-report>
- United Nations, Assessing Regional Integration in Africa ARIA XI “Delivering on the African Economic Community: Towards an African Continental Customs Union and African Continental Common Market”
https://www.uneca.org/sites/default/files/fullpublicationfiles/ARIA%20XI_Book_EN_12June_rev1.pdf
- 独立行政法人 国際協力機構（JICA）, アフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）協定の運用に向けた現状と課題に関する情報収集・確認調査 ファイナル・レポート 2021年12月
<https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12367215.pdf>

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2025 Institute for International Monetary Affairs（公益財団法人 国際通貨研究所）

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: Nihon Life Nihonbashi Bldg., 8F 2-13-12, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0027, Japan

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8 階

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <https://www.iima.or.jp>